



エコアクション21
認証番号 0011695

環境経営レポート

R6-2024



豊かで安心して暮らせる地域社会を—



発行：令和7年5月31日

活動期間：令和6年3月1日～令和7年2月28日



地域に密着した安全を創る
株式会社セロン東北

目次

1. 組織の概要 ······	P 1
1－1. 事業所及び代表者氏名 ······	P 1
1－2. 事業所所在地 ······	P 1
1－3. 環境管理責任者および担当者連絡先 ······	P 1
1－4. 事業内容 ······	P 1
1－5. 事業の規模 ······	P 2
2. 対象範囲・取組期間・実施体制図 ······	P 2
2－1. 対象範囲 ······	P 2
2－2. 環境経営レポートの対象取組期間 ······	P 2
2－3. 実施体制図 ······	P 2
3. 環境経営方針 ······	P 4
4. 環境経営目標 ······	P 5
4－1. 環境経営目標の策定 ······	P 5
4－2. 環境経営目標（単年度・中長期）の設定 ······	P 5
5. 環境経営計画 ······	P 6
6. 環境経営目標の取組結果および評価 ······	P 7
6－1. 二酸化炭素排出量 ······	P 8
6－2. 廃棄物排出量 ······	P 10
6－3. 水使用量（総排水量） ······	P 11
6－4. 誤報率（誤作動等による警備員出動回数） ······	P 12
6－5. ノ－残業D A Y（水） ······	P 13
6－6. 地域環境保全（会社周辺の清掃活動） ······	P 14
6－7. その他活動 ······	P 14
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ······	P 16
7－1. 環境経営計画の取組結果とその評価 ······	P 16
7－2. 次年度の取組内容 ······	P 17
8. 環境関連法規の遵守状況の確認および評価の結果、 並びに違反・訴訟等の有無 ······	P 17
9. 代表者による全体評価と見直しの結果 ······	P 18

1. 組織の概要

当社は、昭和49年9月、山形市双葉町に山形中央警備保障株式会社として、施設・誘導警備業務を主力として警備業を開始しました。その後、平成2年9月に株式会社セロン東北へと社名変更、主力を機械警備へと移し、また営業範囲を山形県内全域へと拡大。平成15年1月に山形市久保田へ本社移転し、平成14年2月にビルメン事業部、平成19年9月には保育園事業部を開設し、現在に至っています。

1-1. 社名及び代表者氏名

- 社 名：株式会社セロン東北
代表取締役会長(CEO) 大内 勇(オオウチ イサム)
代表取締役社長(COO) 森 幸二(モリ コウジ)

1-2. 事業所所在地

- 本 社：山形市久保田1-8-28
- ビルメン事業部：山形市上町5-1-1
- 米 沢 支 社：米沢市花沢17-1
- 長 井 営 業 所：長井市舟場23-12
- 南 陽 営 業 所：南陽市島貫619-14
- 鶴 岡 支 社：鶴岡市淀川町25-18
- 酒 田 支 社：酒田市大宮町4-5-8
- 新 庄 営 業 所：新庄市若葉町1-27
- 村 山 営 業 所：村山市中央1-3-4
- 寒 河 江 営 業 所：寒河江市西根北町7-16
- 天 童 営 業 所：天童市天童中3-6-1
- 仙 台 営 業 所：宮城県仙台市青葉区一番町1-4-30 さのやビル9F
(以下事業所は範囲対象外)
- 保 育 園 事 業 部：セロン北保育園、セロン南保育園(他運営受託保育園2ヶ所)

1-3. 環境管理責任者および担当者連絡先

- 環境管理責任者
及 び 担 当 者：涉外部長 鈴木康雄
- 担 当 者 連 絡 先：セロン東北本社 TEL 023-643-6215 FAX 023-643-6179
E-mail info@seron.co.jp URL <https://www.serон.co.jp>

1-4. 事業内容

- 警備業(1号 施設・巡回・機械警備 / 2号 誘導・雑踏警備 / 3号 貴重品運搬警備 / 4号 身辺警備)
- 総合ビルメンテナンス事業
- 保育園事業
- 損害保険代理店業

1－5. 事業の規模

- 設立年月日：昭和49年9月9日
- 資本金：1,500万円
- 事業年度：4月1日～翌3月31日
- 総従業員数及び総床面積（各年度とも3月1日現在）

	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
総従業員数	434人	492人	491人
総床面積(全事業所合計)	2,067m ²	2,067m ²	2,067m ²

2. 対象範囲・取組期間・実施体制図

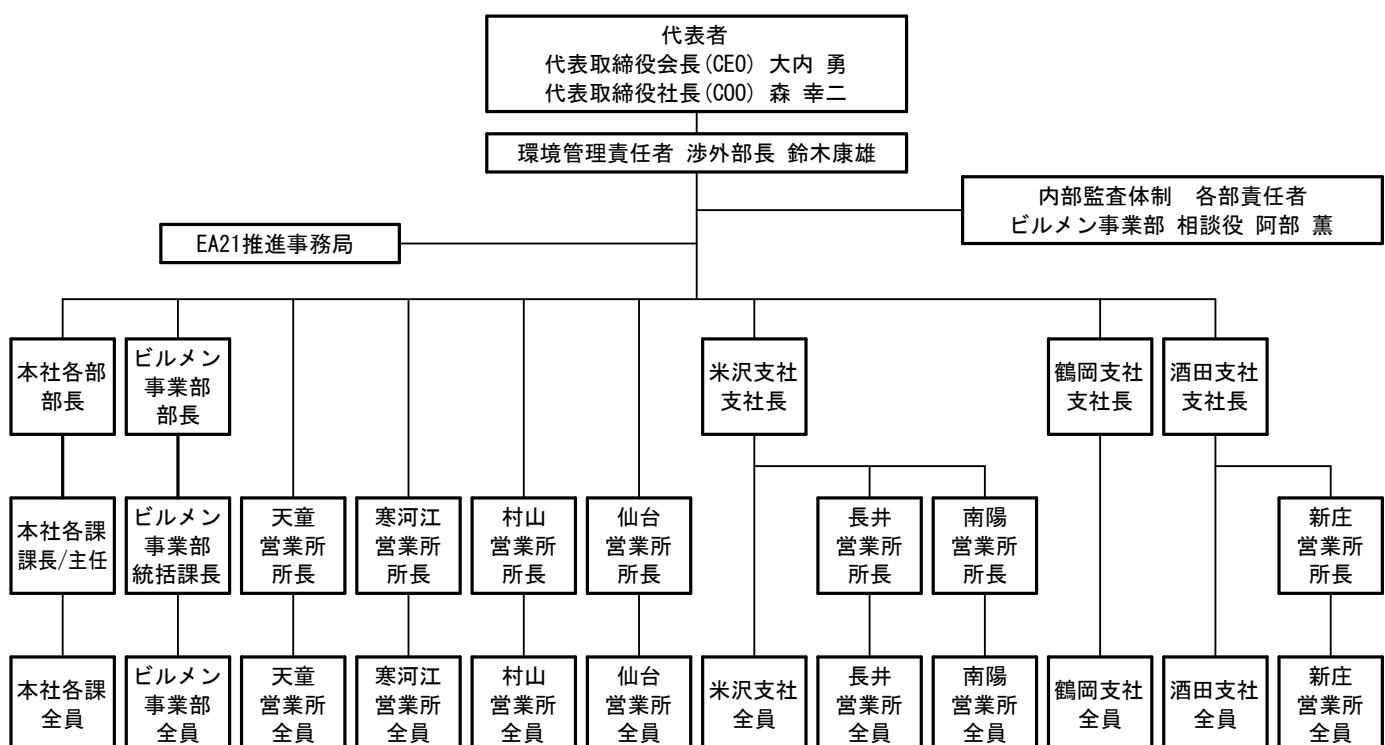
2－1. 対象範囲

- 対象組織：本社、ビルメン事業部、米沢支社、長井営業所、南陽営業所、鶴岡支社、酒田支社、新庄営業所、村山営業所、寒河江営業所、天童営業所、仙台営業所
- 対象人員：309名（令和6年3月1日現在）
- 対象活動：警備業、総合ビルメンテナンス事業、損害保険代理店業（保育園事業は除く）

2－2. 環境経営レポートの対象取組期間

- 令和6(2024)年3月1日～令和7(2025)年2月28日

2－3. 実施体制図



順位	主な責任と権限
代表者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針を定め、誓約する。 2. EA 21 の取り組みを進めるための経営資源を準備する。 3. 実施体制を構築する。 4. 経営上の課題とチャンスの整理と明確化。 5. 環境経営システム全体の評価と見直し・指示を行う。
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システム全体を構築し、運用する。 2. 環境経営目標および環境経営計画を策定する。 3. 環境経営レポートを作成し、公表する。 4. 外部からの環境に対する苦情や要望を受け付け、必要な対応を行う。 5. 環境経営方針、環境経営目標および環境経営計画を達成するために必要な取り組みを実施する。 6. 環境経営目標の達成状況および環境経営計画の実施状況を定期的に確認し評価する。 7. 環境経営目標の達成および環境経営計画の実施状況に問題がある場合には、是正措置を行い必要に応じて予防措置を行う。
内部監査体制	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1回／年を基準に各部監査を実施する。実施者は各部責任者が他部を実施する。事務局の監査はビルメン事業部阿部相談役が担当する。 2. EA 21 ガイドライン第13版(GL 13)に基づき実施する。
EA 21 推進事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針を全ての社員に周知する。 2. 環境経営目標および環境経営計画を全ての社員に周知する。 3. 環境関係法規等を整理し、取りまとめる。 4. EA 21 の取り組みを適切に実行するため、必要な教育・訓練を実施する。 5. 環境経営レポートを作成し、公表する。 6. 外部からの環境に対する苦情や要望を受け付ける。 7. 環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定め定期的な訓練を実施する。 8. 環境管理法規等の厳守状況を、定期的に確認する。 9. EA 21 の取り組みを実施するために必要な文書を作成し整理する。 10. EA 21 の取り組みに必要な記録を整理する。 11. 経営者に、EA 21 全体の見直しに必要な情報を提供する。
EA 21 推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境委員としてEA 21 の取り組みに積極的に参加する。 2. 各部門に環境経営方針や環境経営目標の周知徹底を行う。 3. 環境経営計画を各部門内で展開する。 4. 各部門内の環境改善提案を行う。 5. (システム構築素案を作成する)
全社員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針や環境経営目標を理解し、EA 21 の取り組みに積極的に参画する。 2. 環境経営計画を部門内で展開する。 3. 環境改善提案を行う。

3. 環境経営方針

環境経営方針

株式会社セロン東北は

「お客様と時代が求めるあらゆる安全システム、情報サービス、環境管理サービスの提供に挑戦します」
の理念に基づき社員一人一人が環境負荷の削減を図り、自社の行う事業活動を通じて環境保全活動に取り組みます。

《行動指針》

1. 電力、水資源、全廃棄物の削減活動を行うと共に、リサイクル活動に取り組みます。
2. 化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量削減に努めます。
3. 全社員に環境保全活動への参加を促し、自ら喜んで参加できる機会を作る事で、お客様に感動頂ける人づくりを目指します。
4. 環境関連法規を順守し、環境保全活動を推進します。
5. 事業活動をこの地で出来ることに感謝し、定期的に事業所周辺の清掃活動を実施します。
6. 環境に配慮した商品をお客様に提供し、地域環境に貢献します。
7. 定期的に環境経営システムを見直し、改善していきます。

制定日：平成 28年 8月29日
改定日：令和 2年 6月 9日

株式会社セロン東北
代表取締役会長

大内勇

4. 環境経営目標

4-1. 環境経営目標の策定

目標の策定については、基準値は令和6年3月分～令和7年2月分としました。

E A 2 1への取組以前より行っている事業所周辺の清掃活動やクールビズの継続のほか、当社の二酸化炭素排出量の大部分を占めている化石燃料消費量を重点的に、各排出量の削減を目指します。対象範囲は、保育園を除く全事業所となります。

4-2. 環境経営目標（単年度／中長期）の設定

項目		R5年度 (R5.3～R6.2)	R6年度 (R6.3～R7.2)		R7年度 (R7.3～R8.2)	R8年度 (R8.3～R9.2)
対象：山形本社／米沢支社／長井営業所／ 南陽営業所／ビルメン事業部		基準値	目標	基準比増減	基準比増減	基準比増減
二酸化炭素排出量(kg-CO2)		244,241	239,356	▲2%	▲3%	▲4%
廃棄物排出量(kg)	一般	5,956	5,838	▲2%	▲3%	▲4%
	産廃	5,545	5,434			
誤報率(誤作動による出動回数)(%/月平均) ※ビルメン対象外	山形	13	12	▲1%	▲2%	▲3%
	米沢	19	18			
	長井	18	17			
	南陽	18	17			
ノー残業DAY(水)(%/月平均)※ビルメンのみ		97	98	▲1%	▲2%	▲3%
水使用量(総排水量)(m³)		839	831	▲1%	▲2%	▲3%
地域環境保全(会社周辺の清掃活動)(回数)		年2回	年2回以上	年2回以上	年2回以上	年2回以上

項目		R5年度 (R5.3～R6.2)	R6年度 (R6.3～R7.2)		R7年度 (R7.3～R8.2)	R8年度 (R8.3～R9.2)
対象：鶴岡支社／酒田支社／新庄営業所		基準値	目標	基準比増減	基準比増減	基準比増減
二酸化炭素排出量(kg-CO2)		61,344	60,117	▲2%	▲3%	▲4%
廃棄物排出量(kg)	一般	1,222	1,201	▲2% (鶴▲1%)	▲3% (鶴▲2%)	▲4% (鶴▲3%)
	産廃	240	236			
誤報率(誤作動による出動回数)(%/月平均)	鶴岡	17	16	▲1%	▲2%	▲3%
	酒田	16	15			
	新庄	20	19			
水使用量(総排水量)(m³)		600	594	▲1%	▲2%	▲3%
地域環境保全(会社周辺の清掃活動)(回数)		年2回	年2回以上	年2回以上	年2回以上	年2回以上

項目		R5年度 (R5.7～R6.2)	R6年度 (R6.7～R7.2)		R7年度 (R7.7～R8.2)	R8年度 (R8.7～R9.2)
対象：村山営業所／寒河江営業所／ 天童営業所／仙台営業所		基準値	目標	基準比増減	基準比増減	基準比増減
二酸化炭素排出量(kg-CO2)		38,549	38,162	▲1%	▲2%	▲3%
廃棄物排出量(kg)	一般	373	370	▲1%	▲2%	▲3%
	産廃	—	0			
誤報率(誤作動による出動回数)(%/月平均) ※仙台対象外	村山	14	13	▲1%	▲2%	▲3%
	寒河江	13	12			
	天童	15	14			
水使用量(総排水量)(m³)		135	134	▲1%	▲2%	▲3%
地域環境保全(会社周辺の清掃活動)(回数)※仙台対象外		年1回	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上

5. 環境経営計画

項目	活動・取組内容	活動の具体的な内容
二酸化炭素	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不要な照明の消灯 ■ 事務所内蛍光灯のLED化 ■ PCディスプレイを省エネモードに設定 ■ 冷暖房(エアコン)の温度設定(冷房28℃以上・暖房20℃以下) ■ クールビズの推進 ■ OA機器・家電製品の待機電力の削減
	ガソリン・軽油 使用料の削減 (燃費の向上)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全運転・エコドライブの教育研修 ■ エコドライブの実践 ■ タイヤ空気圧の定期的なチェック・調整 ■ 5,000Km毎にオイル交換、10,000km毎にエレメント交換の実施 ■ 運転日報で運行記録を把握する ■ 不要な荷物を載せたままにしない ■ ハイブリット車の積極的な導入
	その他化石燃料の 削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 暖房(石油ストーブ)の温度設定(20℃以下) ■ 暖房のスイッチをこまめに切る
廃棄物	一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分別ルールの周知徹底 ■ 分別を徹底し、リサイクル率を上げる ■ コピー用紙の両面使用 ■ コピーカウンター記録と管理 ■ 使用済み封筒の再利用 ■ 給与明細書の電子化 ■ 各種書類の保管期限管理
	産業廃棄物の 適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 正しく分別されているかのチェック ■ マニュフェストの管理
サービス	誤報率 (誤作動等による 警備員出動回数)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会議(部長会・業務会議)での呼びかけ ■ 誤報に関する報告書の作成・提出 ■ 警備機器の点検、不良・不具合箇所の早期交換
	ノー残業DAY(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 光熱費の削減
水	水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 節水シールの貼り付け ■ 洗車方法の見直し ■ 洗車時の節水
地域貢献	清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事務所周辺のゴミ拾い、側溝清掃、草刈りなどの実施
	社員への呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社内報を活用しての活動報告・環境情報提供 ■ 普段からエコバック、マイ箸・マイ水筒等エコ活動の推奨 ■ エコについてポスターの掲示による推進活動

6. 環境経営目標の実績および評価

項目 対象：山形本社／米沢支社／長井営業所／ 南陽営業所／ビルメン事業部		R5年度 R5.3～R6.2	R6年度(R6.3～R7.2)					
		基準値	目標		実績	差異	目標比増減	評価
二酸化炭素排出量	電力(kWh)	117,889	115,532	▲2%	116,389	+857	+0.7%	△
	灯油(L)	6,028	5,908		7,344	+1,436	+24.3%	×
	LPG(kg)	190.6	186.8		200.8	+14.0	+7.5%	△
	ガソリン(L)	71,644	70,211		73,014	+2,803	+4.0%	△
	計(kg-CO2)	244,241	239,356		249,909	+10,553	+4.4%	△
廃棄物排出量(kg)	一般	5,956	5,838	▲2%	5,569	-269	▲4.6%	○
	産廃	5,545	5,434		2,278	-3,156	▲58.1%	◎
誤報率(誤作動等による警備員出動回数)(%/月平均) ※ビルメン対象外	山形	13	12	▲1%	14	+2	+2.0%	△
	米沢	19	18		20	+2	+2.0%	△
	長井	18	17		20	+3	+3.0%	△
	南陽	18	17		20	+3	+3.0%	△
ノ－残業DAY(水)(%/月平均)※ビルメンのみ	97	98	▲1%	98	±0	±0%	○	
水使用量(総排水量)(m³)	839	831	▲1%	856	+25	+3.0%	△	
地域環境保全(会社周辺の清掃活動)(回数)	年2回	年2回以上		年2回	±0	±0%	○	

項目 対象：鶴岡支社／酒田支社／ 新庄営業所		R5年度 R5.3～R6.2	R6年度(R6.3～R7.2)					
		基準値	目標		実績	差異	目標比増減	評価
二酸化炭素排出量	電力(kWh)	30,327	29,720	▲2%	34,905	+5,185	+17.4%	×
	灯油(L)	1,377	1,349		1,722	+373	+27.7%	×
	LPG(kg)	28.0	27.4		29.0	+1.6	+5.8%	△
	ガソリン(L)	17,913	17,555		17,719	+164	+0.9%	△
	計(kg-CO2)	61,344	60,117		64,128	+4,011	+6.7%	△
廃棄物排出量(kg)	一般	1,222	1,201	▲2%/ 鶴▲1%	1,166	-35	▲2.9%	○
	産廃	240	236		60	-176	+74.6%	◎
誤報率(誤作動等による警備員出動回数)(%/月平均)	鶴岡	17	16	▲1%	17	+1	+1.0%	△
	酒田	16	15		16	+1	+1.0%	△
	新庄	20	19		19	±0	±0%	○
水使用量(総排水量)(m³)	600	594	▲1%	548	-46	▲7.7%	○	
地域環境保全(会社周辺の清掃活動)(回数)	年2回	年2回以上		年2回	±0	±0%	○	

項目 対象：村山営業所／寒河江営業所／ 天童営業所／仙台営業所		R5年度 R5.7～R6.2	R6年度(R6.7～R7.2)					
		基準値	目標		実績	差異	目標比増減	評価
二酸化炭素排出量	電力(kWh)	30,365	30,061	▲1%	23,438	-6,623	▲22.0%	◎
	灯油(L)	1,676	1,660		2,583	+923	+55.6%	×
	LPG(kg)	76.2	75.4		72.8	-2.6	▲3.4%	○
	ガソリン(L)	7,619	7,542		9,145	+1,603	+21.3%	×
	計(kg-CO2)	38,549	38,162		40,590	+2,428	+6.4%	△
廃棄物排出量(kg)	一般	373	370	▲1%	385	+15	+4.1%	△
	産廃	－	0		0	±0	±0%	○
誤報率(誤作動等による警備員出動回数)(%/月平均) ※仙台対象外	村山	14	13	▲1%	16	+3	+3.0%	△
	寒河江	13	12		15	+3	+3.0%	△
	天童	15	14		16	+2	+2.0%	△
水使用量(総排水量)(m³)	135	134	▲1%	124	-10	▲7.5%	○	
地域環境保全(会社周辺の清掃活動)(回数)	年1回	年1回以上		年1回	±0	±0%	○	

※評価について

(増減値) ≤ -10% < (増減値) ≤ ±0% < (増減値) < +10% ≤ (増減値)

◎

○

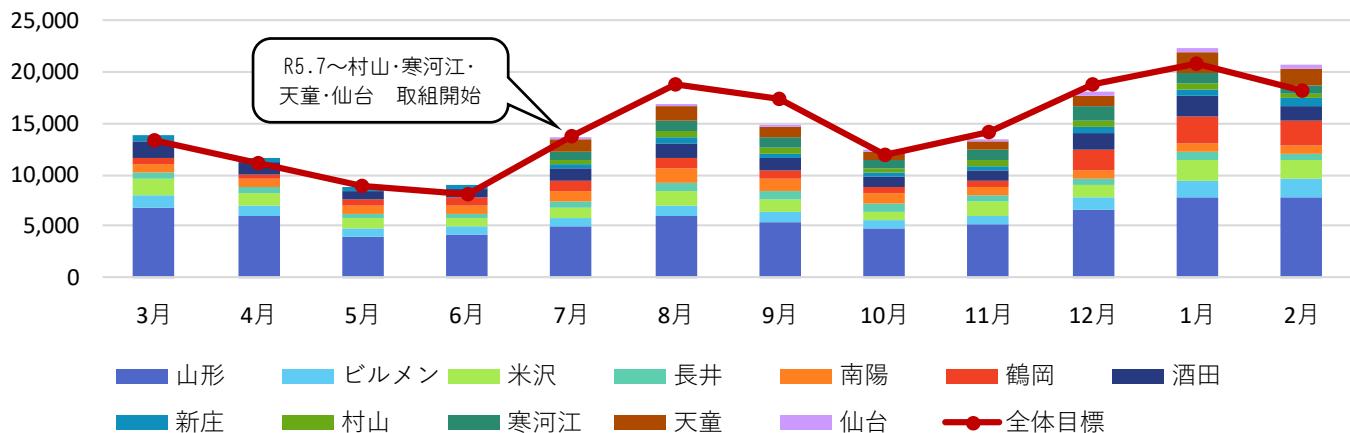
△

×

6-1. 二酸化炭素排出量

1) 電力 (kWh)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	115,532	▲2%	116,389	+857	+0.7%	△
鶴岡・酒田・新庄	29,720	▲2%	34,905	+5,185	+17.4%	×
村山・寒河江・天童・仙台	30,061	▲1%	23,438	-6,623	▲22.0%	◎
合計	175,313	-	174,732	-581	▲0.3%	○



目標達成：ビルメン・米沢・長井・新庄・寒河江・天童（計 9,800kWh 削減）

目標未達：山形(本社)・南陽・鶴岡・酒田・仙台（計 9,219kWh 増加）

全体合計：581kWh(0.3%) 削減

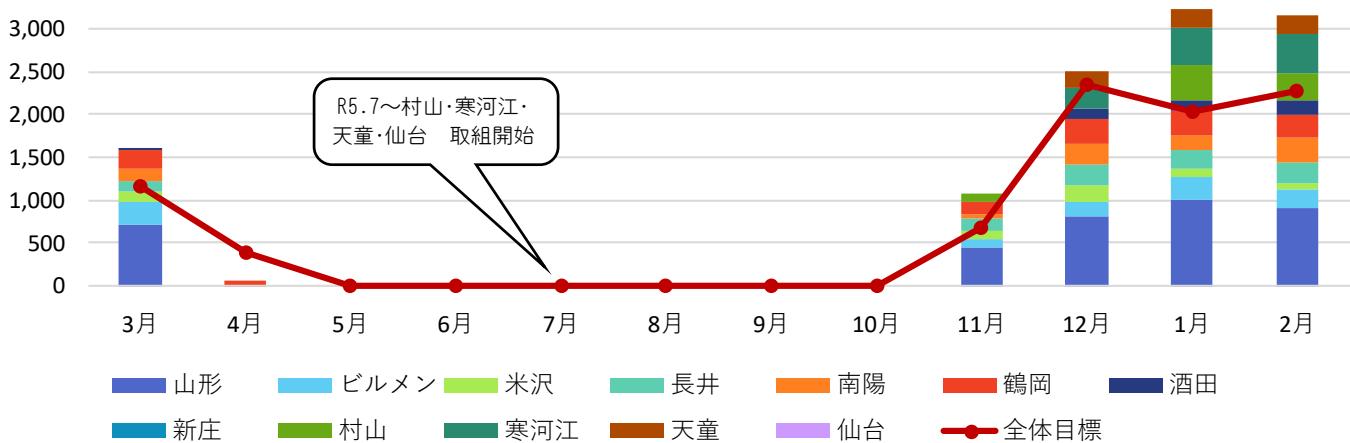


電気使用量だけで比較をすると、目標達成となったセクションが多くありました。
長井営業所は事務所内照明のLED化により14.3%削減(1,333kWh減)、寒河江営業所はエアコンとストーブの効率的な使用により18.9%削減(1,844kWh減)、天童営業所はエアコン入替により35.9%削減(5,549kWh減)となりました。鶴岡支社は、融雪設備の使用により58.2%増(4,874kWh増)となっていました。

2) 灯油 (L)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	5,908	▲2%	7,344	+1,436	+24.3%	×
鶴岡・酒田	1,349	▲2%	1,722	+373	+27.7%	×
村山・寒河江・天童	1,660	▲1%	2,583	+923	+55.6%	×
合計	8,917	-	11,649	+2,732	+30.6%	×

(対象外：新庄・仙台)



全セクションとも目標未達 計 2,732L(30.6%) 増加

冬季間の大雪の影響により、全セクションにおいて目標未達となっていました。

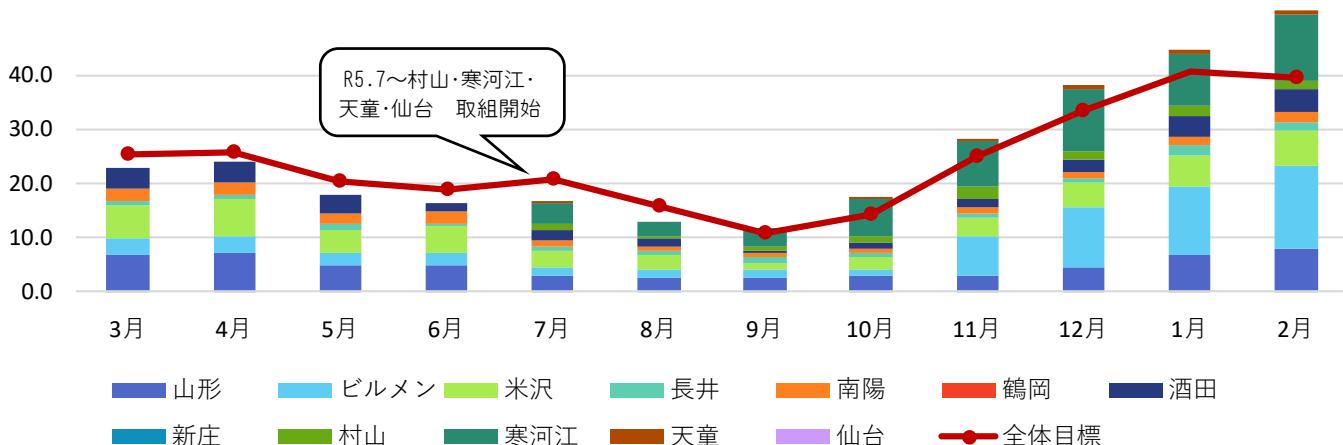
厳寒の冬であったため、エアコンよりも石油ストーブを使用する機会が多く、使用量の増加となっていました。



3) LPG (kg)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	186.8	▲2%	200.8	+14.0	+7.5%	△
酒田	27.4	▲2%	29.0	+1.6	+5.8%	△
村山・寒河江・天童	75.4	▲1%	72.8	-2.6	▲3.4%	○
合計	289.6	—	302.6	+13.0	+4.5%	△

(対象外：鶴岡・新庄・仙台)



目標達成：米沢・長井・南陽・寒河江・天童（計 23.3kg 削減）

目標未達：山形(本社)・ビルメン・酒田・村山（計 36.3kg 増加）

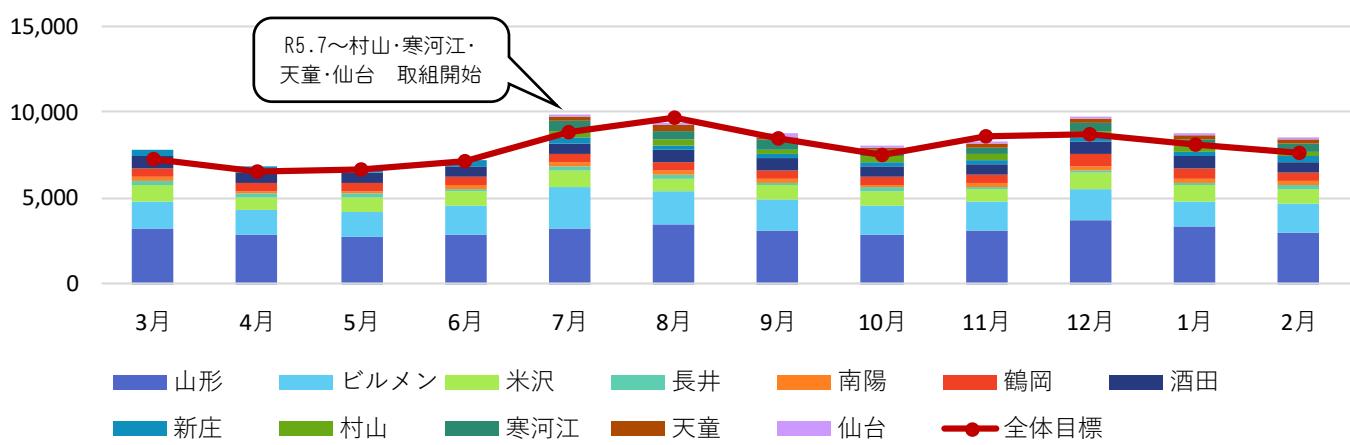
全体合計：13.0kg(4.5%)増加

半数以上のセクションで目標達成する事ができました。目標が未達となった部門では、人員増員や応援勤務による人員の移動が影響し、使用量の増加につながったケースも見受けられました。全体では、4.5%の増加となっていました。



4) ガソリン (L)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	70,211	▲2%	73,014	+2,803	+4.0%	△
鶴岡・酒田・新庄	17,555	▲2%	17,719	+164	+0.9%	△
村山・寒河江・天童・仙台	7,542	▲1%	9,145	+1,603	+21.3%	×
合計	95,308	—	99,878	+4,570	+4.8%	△



目標達成：米沢・酒田・天童（計 1,149L 削減）

目標未達：山形(本社)・ビルメン・長井・南陽・鶴岡・村山・寒河江・仙台（計 5,719L 増加）

全体合計：4,570L(4.8%)増加

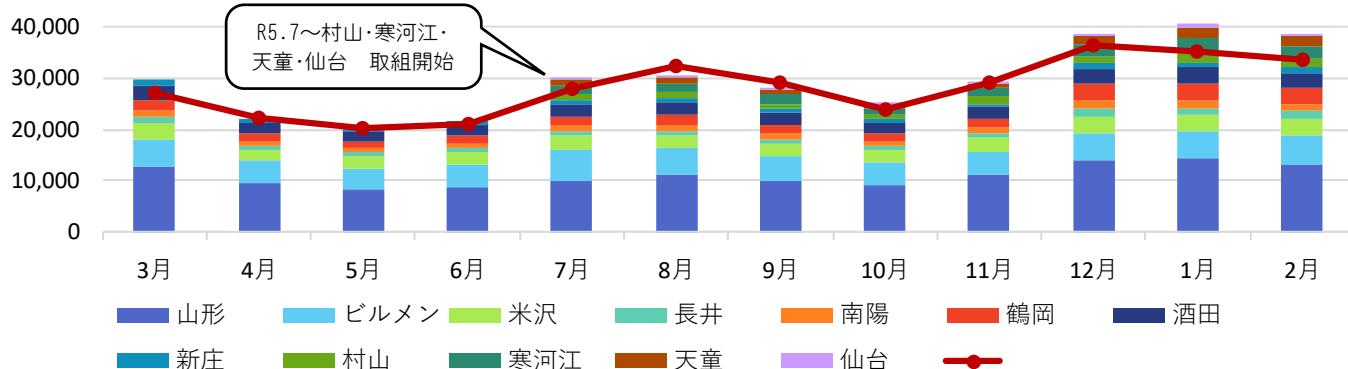
3セクションで目標達成する事ができましたが、ビルメン事業部・仙台営業所では人員不足による現場応援が多く、ビルメンで10%増(1,899L増)、仙台で222%増(653L増)となってしまい、全体では4.8%の増加となっていました。



5) 二酸化炭素排出量合計 (kg-CO₂)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	239,356	▲2%	249,909	+10,553	+4.4%	△
鶴岡・酒田・新庄	60,117	▲2%	64,128	+4,011	+6.7%	△
村山・寒河江・天童・仙台	38,162	▲1%	40,590	+2,428	+6.4%	△
合計	337,635	-	354,629	+16,992	+5.0%	△

※電力の二酸化炭素排出係数は、本社は令和元年度東北電力(0.519)、他は令和元年度リエスパワーネクスト(0.542)を使用。



目標達成：米沢・天童（計 4,718kg-CO₂ 削減）

目標未達：山形（本社）・ビルメン・長井・南陽・鶴岡・酒田・新庄・村山・寒河江・仙台（計 21,710kg-CO₂ 増加）

全体合計：16,992kg-Co₂(5.0%) 増加

排出量合計としては、米沢・天童で目標達成する事ができました。米沢は多くの項目で削減することができたことと、天童はエアコン設備の見直しにより電力を大幅に削減できたことが結果に繋がりました。しかしながら、灯油やガソリン使用量が上がった事などが要因となり、全体としては5.0%増となってしまいました。

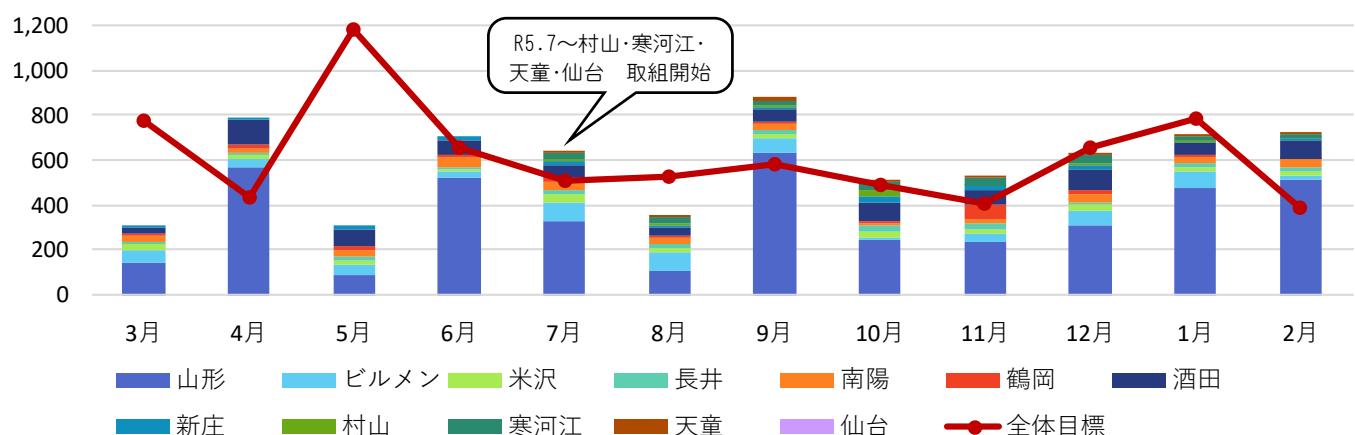


6-2. 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物 (kg)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	5,838	▲2%	5,569	-269	▲4.6%	○
鶴岡・酒田・新庄	1,201	▲2%(鶴1%)	1,166	-35	▲2.9%	○
村山・寒河江・天童	370	▲1%	385	+15	+4.1%	△
合計	7,409	-	7,120	-289	▲3.9%	○

（対象外：仙台「使用量の削減に努める」）



目標達成：山形（本社）・米沢・鶴岡・新庄・寒河江・天童（計 661kg 削減）

目標未達：ビルメン・長井・南陽・酒田・村山（計 372kg 増加）

全体合計：289kg(3.9%) 削減

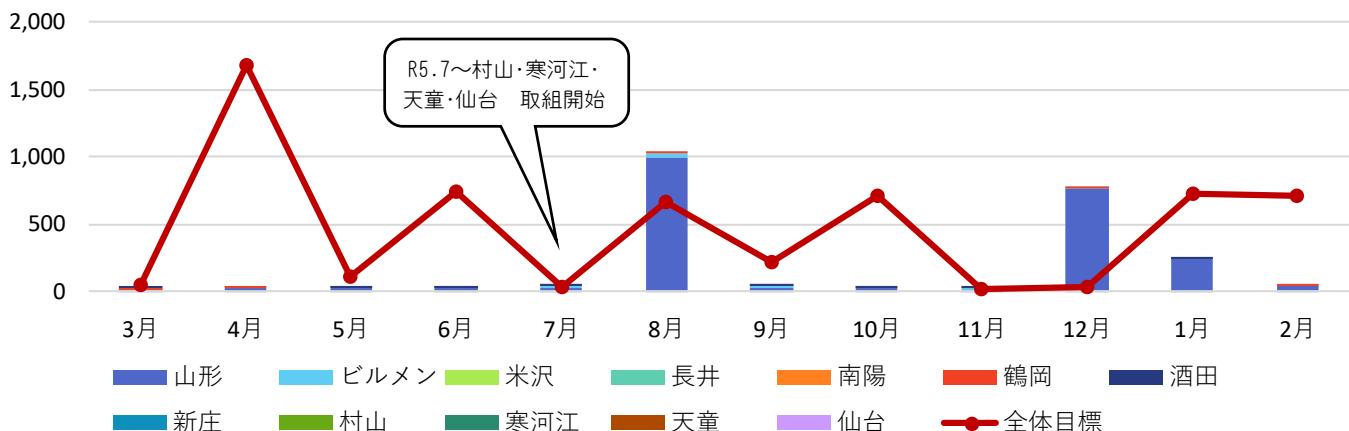
半数以上のセクションで目標達成する事ができました。前年は2セクションのみの目標達成だったため、社員全員の意識向上を感じられる結果となりました。課題としては、社内での定期的な処分のタイミングが決められていないため、ルールの設定が必要になります。尚、総排出量7,120kgのうち、3,167kgは再生利用・リサイクルでの排出を行いました。



2) 産業廃棄物 (kg)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	5,434	▲2%	2,278	-3,156	▲58.1%	◎
鶴岡・酒田・新庄	236	▲2%(鶴1%)	60	-176	▲74.6%	◎
村山・寒河江・天童	0	—	0	±0	±0%	○
合計	5,670	—	2,338	-3,332	▲58.8%	◎

(米沢・長井・南陽・新庄・村山・寒河江・天童の目標は排出量0、仙台は対象外)



目標達成：山形(本社)・米沢・長井・南陽・鶴岡・酒田・新庄・村山・寒河江・天童 (3,362kg 削減)

目標未達：ビルメン (31kg 増加)

全体合計：3,332kg (58.8%) 削減

目標排出量が0になっている7拠点は全て目標達成、山形本社でも意識向上の結果により5,383kgの目標に対し、半分以下となる2,196kgに抑えることで、大幅な目標クリアとなりました。ビルメン事業部は、業務量の増加に伴い、排出量も増加となりました。

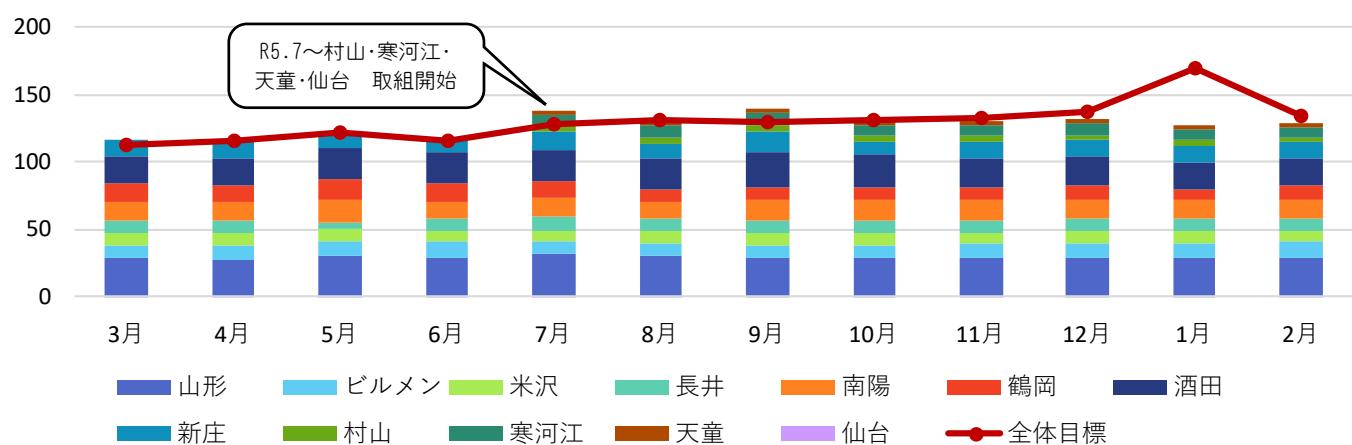


6-3. 水使用量 (総排水量)

水使用量 (総排水量) (m³)

対象	目標	基準値比	実績	差異	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	831	▲1%	856	+25	+3.0%	△
鶴岡・酒田・新庄	594	▲1%	548	-46	▲7.7%	○
村山・寒河江・天童	134	▲1%	124	-10	▲7.5%	○
合計	1,559	—	1,528	-31	▲2.0%	○

(対象外：仙台「使用量の削減に努める」※水道利用が共用のため計測不可)



目標達成：長井・南陽・鶴岡・寒河江・天童 (計 87m³ 削減)

目標未達：山形(本社)・ビルメン・米沢・酒田・新庄・村山 (計 56m³ 増加)

全体合計：31m³ (2.0%) 削減

5セクションで目標達成する事ができました。山形本社はR5年8月に別棟を改修した際、トイレを1基増設したことにより使用量が増加、ビルメン事業部は業務量の増加に伴い使用量も増加となりました。鶴岡は、目標に対し69%と大幅に改善しました。これは、基準年度に設備修繕が行われたために水使用量が多くなり、それが改善したものでした。



6-4. 誤報率（誤作動等による警備員の出動回数）

誤報率（誤作動等による警備員の出動回数）（%／月平均）

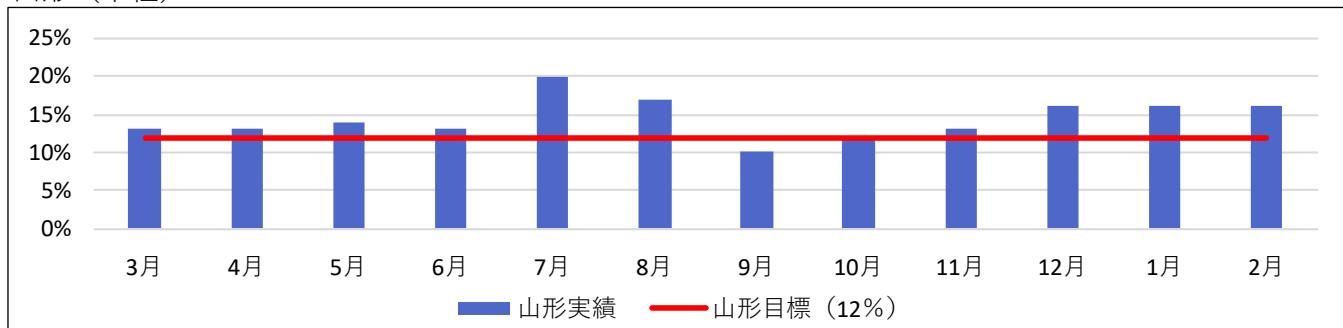
対象	目標	基準値比	実績	差異	評価
山形	12	▲1%	14	+2.0	△
米沢	18	▲1%	20	+2.0	△
長井	17	▲1%	20	+3.0	△
南陽	17	▲1%	20	+3.0	△
鶴岡	16	▲1%	17	+1.0	△

対象	目標	基準値比	実績	差異	評価
酒田	15	▲1%	16	+1.0	△
新庄	19	▲1%	19	±0	○
村山	13	▲1%	16	+3.0	△
寒河江	12	▲1%	15	+3.0	△
天童	14	▲1%	16	+2.0	△

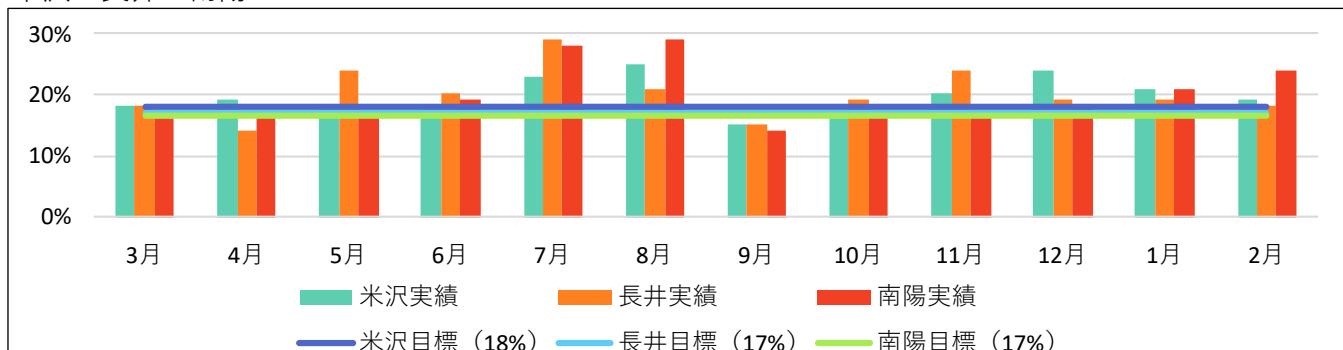
10拠点 平均値	目標	基準値比	実績	差異	評価
	15.6	▲1%	17.3	+1.7	△

(対象外：ビルメン・仙台)

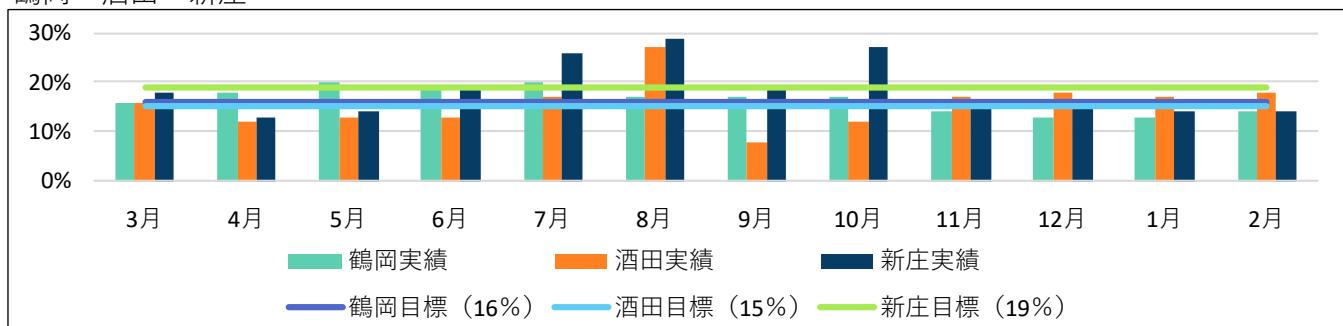
山形（本社）



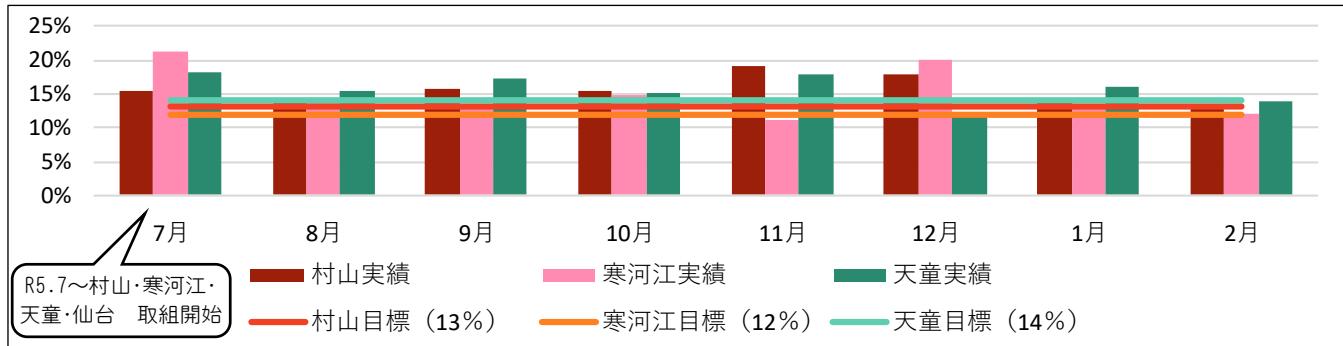
米沢・長井・南陽



鶴岡・酒田・新庄



村山・寒河江・天童（R5.7～取組開始）



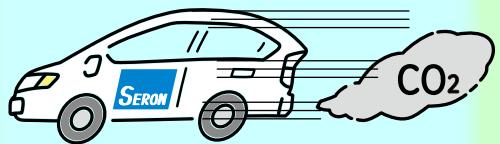
【誤報率について】

誤報率は、機械警備ご契約先に設置している機械警備システムが誤作動した頻度を、各セクションの契約物件数や警備システム作動回数などを元に計算し、割合を比率化した数値になります。

誤報回数が増えると警備員が出動する回数が増え、結果としてガソリン消費量の増加などに繋がります。

誤報が発生する原因は、機械的要因によるもの・人的要因によるものなど理由は様々ですが、それらを少しでも減らし環境負荷を軽減できるよう日々改善を行っています。

出動回数減!!



目標達成：新庄（増減無）

目標未達：山形（本社）・米沢・長井・南陽・鶴岡・酒田・村山・寒河江・天童（各1～3%増加）

全体合計：1.7%増加

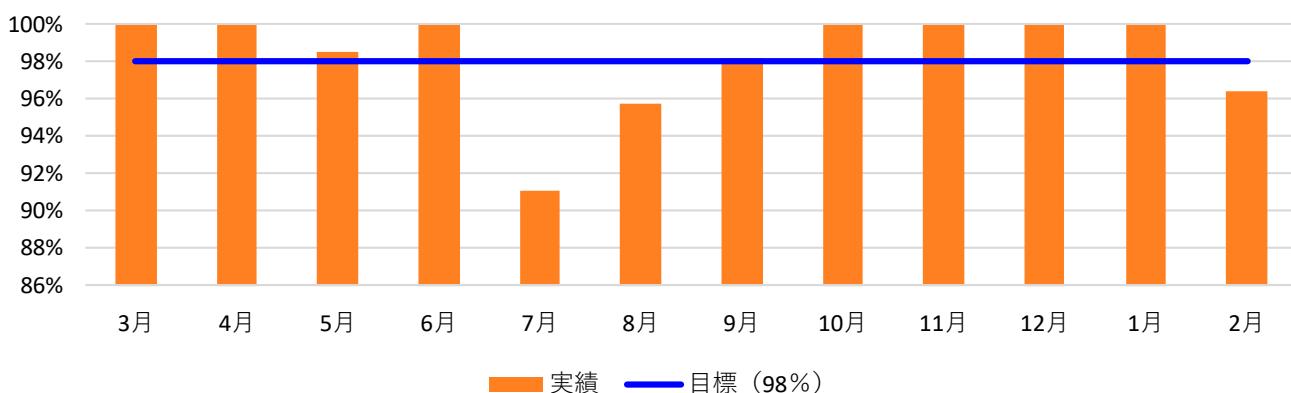
今期は新庄営業所のみが増減無しの結果となり目標達成となりました。例年同様、夏季は小動物・昆虫等による誤作動が増え、通年としてはエアコン等の冷暖房器具の運転消し忘れによる誤作動なども見受けられました。定期的な機器の保守・メンテナンスの実施や、警備機器設置計画の見直し等を行い、より一層の誤報率削減を目指します。



6-5. ノー残業DAY（水）

ノー残業DAY（水）（%/月平均）（対象：ビルメン事業部）

対象	目標	基準値比	実績	差異	評価
ビルメン	98	▲1%	98	±0	○



目標達成：月平均98%

ビルメン事業部では、令和5年4月より毎週水曜日をノー残業DAYに設定し取り組みを行っています。残業を行わない日を設定することで電力や灯油の使用量等を抑え、環境負荷削減を目指します。

7月～9月は、夏期限定のプール監視業務に伴い業務量が増加してしまい目標を大きく下回ってしまいましたが、年平均では98%となり目標を達成することができました。

引き続き取り組みを続け、環境負荷削減に繋げていきます。

（目標・実績に使用している数値は、ビルメン事業部に所属している社員数と、水曜日に残業を行った人数の比率から算出しています。）



6-6. 地域環境保全（会社周辺の清掃活動）

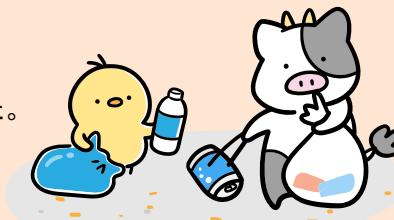
地域環境保全（会社周辺の清掃活動）（回数）

対象	目標	実績	増減	評価
山形・米沢・長井・南陽・ビルメン	年2回(以上)	年2回	±0	○
鶴岡・酒田・新庄	年2回(以上)	年2回	±0	○
村山・寒河江・天童	年1回(以上)	年1回	±0	○



全セクション目標達成：山形(本社)・米沢・長井・南陽・ビルメン・鶴岡・酒田・新庄・村山・寒河江・天童

5月30日と11月1日の2回、全社一斉に各事業所周辺の清掃活動を行いました。
(天童・寒河江・村山は、7月から取組開始したため、11月1日の1回のみを計上しています)



6-7. その他活動

1) 社内報の発行

社員・ご家族様へ 一守りたい笑顔がありますー



当社では、社内コミュニケーションの一環として年に3~4回程度、定期的に社内報を発行しております。今期のエコアクション活動期間中では、3回発行しました。

その中で、環境保全に関する情報発信にも力を入れています。環境保全についてをテーマとし、社内での取り組み事例などを紹介し、社員一人ひとりが環境課題を自分ごととして捉えられるよう工夫しています。継続的に情報を発信し、全社員の環境意識の醸成と日常業務における環境配慮行動の定着を図っています。

2) 無事故・無違反チャレンジ100

当社では、山形地区安全運転管理者協議会が主催するイベント「令和6年度 無事故・無違反チャレンジ100」に参加いたしました。本イベントは、1チーム5名で編成し、2024年9月23日から12月31日までの100日間、無事故・無違反の達成を目指すことで、安全運転意識の向上などを目的としたものです。

今回は、本社より業務部の機動隊員5名が参加し、見事、無事故・無違反を達成することができました。参加された皆さん、本当に疲れさまでした。

本イベントへの参加は、社員一人ひとりの安全運転意識の向上だけでなく、企業としての交通安全への取り組み姿勢を社会に示す重要な機会でもあります。今後も引き続き、安全運転の意識を高め、交通事故ゼロを目指していきます。

次回のチャレンジにも積極的に参加し、達成を目指して全社一丸となって取り組んでいきます。

第222号

認定証

株式会社セロン東北
セロン機動隊 殿

貴チームは当協議会が主催する
無事故・無違反100日を達成さ
れました

ここに認定いたします

令和7年3月7日

山形地区安全運転管理者協議会
会長 田村道雄



3) 令和6年度エコアクション教育について

2025年1月24日・25日・28日・29日の4日間にわたり、
本社会議室にてエコアクション21に関する社内教育を実施しました。

講師は、当社の環境管理責任者である鈴木涉外部長が務め、エコアクション21の取組状況や、世界の環境を取り巻く現状について、映像教材を用いて解説しました。今回は日程の都合により、本社および村山地区の社員を対象とした実施となりましたが、次年度は他の地区でも教育を行えるよう計画しています。今後も継続的な環境意識の向上を目指し、全社的な取り組みを推進してまいります。



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

7-1. 環境経営計画の取組結果とその評価

◎ … 十分に取り組んだ ○ … ある程度取り組んだ
 △ … やや不十分 × … 不十分

— … 対象なし

項目	活動・取組内容	活動の具体的な内容	評価											
			本社	米沢	長井	南陽	ビル	鶴岡	酒田	新庄	村山	寒河江	天童	仙台
二酸化炭素	電力使用量の削減	不要な照明の消灯	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		事務所内蛍光灯のLED化	×	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		PCディスプレイを省エネモードに設定	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		冷暖房(エアコン)の温度設定 (冷房28°C以上・暖房20°C以下)	△	○	○	○	○	×	△	○	○	△	△	○
		クールビズの推進	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		OA機器・家電製品の待機電力の削減	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	—
廃棄物	ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	安全運転・エコドライブの教育研修	◎	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○
		エコドライブの実践	△	○	×	○	△	○	△	△	○	○	○	○
		タイヤ空気圧の定期的なチェック・調整	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		5,000Km毎にオイル交換 10,000Km毎にエレメント交換の実施	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		運転日報で運行管理を把握する	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		不要な荷物を載せたままにしない	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハイブリッド車の積極的な導入	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他化石燃料の削減	暖房(石油ストーブ)の温度設定(20°C以下)	○	○	×	○	○	—	×	—	—	—	—	—
		暖房のスイッチをこまめに切る	△	○	×	○	○	—	○	—	—	—	—	—
サービス	一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	分別ルールの周知徹底	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		分別を徹底し、リサイクル率を上げる	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		コピー用紙の両面使用	◎	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
		コピーカウンター記録と管理	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済み封筒の再利用	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		給与明細書の電子化	◎	△	×	—	△	○	○	△	△	△	△	○
		各種書類の保管期限管理	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	産業廃棄物の適正管理	正しく分別されているかのチェック	◎	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	—
		マニュフェストの管理	◎	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—
水	水道使用量の削減	会議(部長会・業務会議)での呼びかけ	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		誤報に関する報告書の作成・提出	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		警備機器の点検、不良・不具合の早期交換	◎	○	△	—	—	○	○	○	○	○	○	—
	ノー残業DAY(水)	光熱費の削減	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
地域貢献活動	清掃活動	節水シールの貼り付け	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		洗車方法の見直し	—	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	—
		洗車時の節水	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社員への呼びかけ	事務所周辺のゴミ拾い・側溝清掃・草刈りなどの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		社内報を活用しての活動報告・環境情報提供	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		普段からエコバック・マイ箸・マイ水筒等エコ活動の推奨	—	○	△	○	△	△	△	○	△	○	○	○
		エコについてポスター掲示による推進活動	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△

7-2. 次年度の取組内容

項目	内 容
■ 二酸化炭素の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社有車のハイブリッド車優先的導入 ■ 社員への安全運転・エコドライブの教育研修の充実 ■ 家電買い替え時の省エネ商品優先的導入 ■ 冷暖房(ストーブ・エアコン)の温度管理 (冷房28℃以上、暖房20℃以下) ■ 冷暖房のスイッチをこまめに切る (エアコンは30分以上不在になる場合に切る) ■ 事務所内蛍光灯のLED化
■ 廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分別掲示板の貼付、廃棄ルールの見直し・改善 ■ 分別ルールの継続的指導 ■ 定期的な整理整頓、保管文書に関する規定の作成
■ 水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 洗車方法の見直し
■ 社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 清掃活動の実施 ■ 社員へのエコ活動奨励(エコバック・マイ箸・マイ水筒持参等)
■ 取組エリアの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ セロン北保育園・セロン南保育園の取組開始

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社においては、環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認・評価しており、現在までに環境管理法規への違反は確認されておりません。また、過去3年間に関係当局からの指摘・是正要求等も受けておらず、関連する訴訟も発生しておりません。

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
浄化槽法 該当：米沢支社のみ	保守点検・清掃、定期水質検査 年1回の定期点検、清掃、検査及び記録保管	適合
消防法および 山形市火災予防条例	危険物貯蔵(灯油200L以上)の届出、 標識・掲示板設置	H20.2届出
廃棄物の処理および 清掃に関する法律	適正な処理、保管基準、委託基準、 処理状況の確認、契約書締結、 マニュフェスト交付状況・県への報告等	適合
フロン排出抑制法	該当製品の定期点検	3ヶ月に 一度点検
自動車リサイクル法	再資源化の適正な実施	排出無
家電リサイクル法	適正な再資源化・処分の実施	排出無
水質汚濁防止法	応急措置を講ずるとともに事故状況の届出	該当無

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

近年の異常気象、特に猛暑の影響に伴い、当社の事業活動においても様々な影響が生じています。中でも、労働環境の整備は喫緊の課題であり、従業員の安全および健康確保を第一に対応していく必要があります。

また、各種法改正が進む中で、現在行っているエコアクション21の取り組みについても、現状に即した見直しが必要であると認識しています。推進事務局に対しては、環境管理責任者と連携し、改善点の確認および対応策の見直しを行い、その内容を速やかに全社員へ周知・共有するよう指示しました。今後は、各活動が環境経営方針や行動指針および環境経営目標に沿って行われているものかどうかを再確認しながら、意義ある取り組みを推進していきます。特に、環境経営方針に立ち返り「何のためにエコアクションに取り組むのか」という本来の目的を全社員が再認識し、活動の質を高めていくことが重要です。

なお、本年度において目標を達成できなかった項目については、環境管理責任者を中心に要因を分析し、次年度の計画に的確に反映させ、達成を確実に図るよう見直しを行います。さらに、これまでエコアクション活動を実施していなかった保育園事業部についても、次年度より取り組みを開始する方針を示しました。

引き続き、全社一丸となって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、環境マネジメントの推進に努めてまいります。

令和 7年 5月 1日
株式会社セロン東北
代表取締役会長 大内 勇

見直しの結果

項目	変更の有無	内 容
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	継続
環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	セロン北保育園・セロン南保育園の取組開始、 村山・寒河江・天童・仙台営業所の取組期間の見直し
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	継続
環境経営システム	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	継続
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	セロン北保育園・セロン南保育園を追加、 内部監査体制の見直し



守りたい笑顔があります。

セロン東北 経営理念

- 一、お客様と時代が求めるあらゆる安全システム、
情報サービス、環境管理サービスの提供に挑戦します。
- 一、お客様の生命と財産を守り、
豊かで安心できる地域社会を創ります。
- 一、一人一人を尊重し、
活力と誇りのある職場を創り、物心両面の幸福を追求します。



地域に密着した安全を創る
株式会社セロン東北